

作成日 2016年03月07日

改訂日 -

安全データシート (SDS)**1. 化学品及び会社情報**

製品名： オルデフォーム FC-100
 会社名： オルガノ株式会社
 住所： 東京都江東区新砂 1-2-8
 担当部門： 機能商品事業部
 電話番号： 03-5635-5214
 FAX 番号： 03-3699-7244
 推奨用途及び使用上の制限： 消泡剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性：	爆発物	： 分類対象外
	可燃性又は引火性ガス (化学的に不安定なガスを含む)	： 分類対象外
	エアゾール	： 分類対象外
	支燃性又は酸化性ガス	： 分類対象外
	高压ガス	： 分類対象外
	引火性液体	： 区分4
	可燃性固体	： 分類対象外
	自己反応性化学品	： 分類対象外
	自然発火性液体	： 区分外
	自然発火性固体	： 分類対象外
	自己発熱性化学品	： 区分外
	水反応可燃性化学品	： 分類対象外
	酸化性液体	： 分類できない
	酸化性固体	： 分類対象外
	有機過酸化物	： 分類対象外
	金属腐食性化学品	： 分類できない
健康に対する有害性：	急性毒性（経口）	： 区分外
	急性毒性（経皮）	： 分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	： 分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	： 分類対象外
	急性毒性（吸入：粉じん）	： 分類対象外
	急性毒性（吸入：ミスト）	： 分類できない
	皮膚腐食性及び刺激性	： 分類できない
	眼に対する重篤な損傷 又は眼刺激性	： 分類できない
	呼吸器感作性	： 区分外
	皮膚感作性	： 区分外
	生殖細胞変異原性	： 分類できない
	発がん性	： 分類できない
	生殖毒性	： 分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	： 分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	： 分類できない
	吸引性呼吸器有害性	： 分類できない
環境に対する有害性：	水生環境有害性（急性）	： 分類できない

水生環境有害性（長期間） : 分類できない
 オゾン層への有害性 : 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル : 該当なし
 注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : 可燃性液体

- 注意書き : 【安全対策】
- ・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
 - ・使用前に安全データシート(SDS)を入手し、全ての安全注意を理解するまで取り扱わないこと。
 - ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 - ・ミストを吸入しないこと。
 - ・取扱い後はよく手を洗い、うがいをすること。
 - ・環境への放出を避けること。
- 【応急措置】
- ・火災の場合：消火に粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水を使用すること。
 - ・飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。
 - ・吸入した場合：新鮮な空気のある場所へ移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
 - ・皮膚や衣服に付着した場合：多量の水および石鹸で洗い流す。症状がでた場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
 - ・汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には十分洗濯をすること。
 - ・ばく露又はばく露の懸念がある場合、異常がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 - ・眼に入った場合：直ちに清浄な流水で15分以上洗眼した後、医師の処置を受ける。
 - ・漏出物は回収すること。
- 【保管】
- ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- 【廃棄】
- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
- 【その他】
- ・目的用途以外に使用しないでください。

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別 : 混合物
 化学名又は一般名等 : 次の通り

成分名(別名)	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
ポリ 2-アクリル酸脂肪酸エステル	80	非公開	(7)-88	-	37231-60-0
ジエチレングリコールモノメチルエーテル	20	非公開	(2)-422	-	111-77-3

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水および石鹸で洗い流す。症状がでた場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼した後、医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
- 使ってはならない消火剤 : 棒状の水
- 火災時の特有の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。周囲の設備などに散水して冷却する。関係者以外は安全な場所に退避させる。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
- 消火を行う者の保護 : 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、適切な呼吸用保護具を着用し、煙の吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業には、必ず保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。多量の場合は、人を安全な場所に退避させる。必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 - 注意事項 : 火気厳禁
 - 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 安全取扱い注意事項 : 作業場の換気を十分行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 接触回避 : 強酸化剤とは、反応して危険。
- 保管
 - 混触禁止物質 : 強酸化剤とは、反応して危険。
 - 適切な保管条件 : 通気のよい場所で容器を密閉し保管する。 火気厳禁。
 - 避けるべき保管条件 : 火気厳禁
強酸化剤とは、反応して危険。
 - 容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない
 許容濃度 : 日本産業衛生学会 : 設定されていない(2008年版)
 ACGIH : 設定されていない(2005年版)
 設備対策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
 取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
- 保護具
 呼吸器の保護 : 必要により有機溶剤用防毒マスク
 手の保護 : 不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋
 目の保護 : 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型保護眼鏡)
 皮膚及び身体の保護 : 静電気防止加工長袖作業衣
- 衛生対策 : : 取り扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 微黄色液体
 臭い : わずかに特異な臭いを有する。
 pH : 4.2(1%水溶液)
 融点・凝固点 : -8
 沸点、初留点及び沸騰範囲 : データなし
 引火点 : 93(TAG密閉)
 爆発範囲 : データなし
 蒸気圧 : データなし
 蒸気密度 : データなし
 比重 : 約1.0(20)
 溶解性 : 水に乳化
 オクタール/水分配係数 : データなし
 自然発火温度(発火点) : データなし
 分解温度 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の実験では、熱、光、衝撃に対して化学的に安定。
 自己重合性はない。
 危険有害反応可能性 : 強酸化剤とは、反応して危険。
 避けるべき条件 : 情報なし
 混触危険物質 : 強酸化剤
 危険有害な分解生成物 : 情報なし

11. 有害性情報

- 急性毒性 : >9800mg/kg(類似化合物の文献値より推定)
 皮膚腐食性・刺激性 : ほとんどなし
 眼に対する重篤な損傷/刺激性 : 刺激する
 呼吸器皮膚感作性/皮膚感作性 : なし
 生殖細胞変異原性 : データなし
 発がん性 : 認定されていない。
 生殖毒性 : データなし
 特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露) : データなし
 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露) : データなし
 吸引力呼吸器有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生体毒性(魚毒性、その他)	: TLm24 ヒメダカ 2,000ppm
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
その他	: BOD = 360mg/L (1g/L 溶液)
	: COD = 840mg/L (1g/L 溶液)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
汚染容器・包装	: 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に廃棄物処理法(廃棄物及び清掃に関する法律)、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	: IMOの規則に従う。
航空規制情報	: ICAO / IATAの規則に従う
国内規制	
陸上規制情報	: 消防法に定められている運送方法に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空規制情報	: 航空法に定められている運送方法に従う。
国連分類 / 国連番号	該当しない。
HSコード	3809.92-000
特定の安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 消防法危険物第4類第3石油類に該当するので、同法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。 タンクローリー等の荷役時には車止め、ホースの連結、必要に応じてアースを確実に行う。ホースの脱着時は、ホース内の残留分の処理を完全に行う。
緊急時応急措置指針番号	: 非該当

15. 適用法令

化学物質排出把握管	: 非該当	第1種指定化学物質: 非該当
理促進法		第2種指定化学物質: 非該当
消防法	: 危険物第4類第3石油類(水溶性)	
毒物及び劇物取締法	: 非該当	
労働安全衛生法	: 非該当	
化審法	: 規制対象物質に非該当	

16. その他の情報

- ・本データシートは、製品の安全な取扱いのための情報として、現時点で入手できる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性や完全性を保証するものではありません。
- ・本データシートは、新たな知見に基づき改訂されることがあります。
- ・本データシートは、本製品用途における通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合は用途・用法に則した安全対策を実施してください。
- ・本データシートは日本国内向けに作成したものです。
日本以外で使用する場合は、その国での法律・規制等を確認してください。